

〔入院診療計画書〕

傷病名:(左・右・両)大腿骨頸部骨折

症 状:

治療法:人工骨頭置換術

西・東病棟

階 A・B

号室

氏名

様

経過	入院当日(/)	入院2日～ 日	手術前日(/)	手術当日(/)	手術後1～3日	術後 日～退院日(/)
目 標	手術に対する理解ができ、疼痛がコントロールされ手術に臨むことができる。			手術を予定通り受けられる。 手術後の痛みを訴えることができ対処できる。	傷の痛みを訴えることができコントロールできる。 傷の感染が予防できる。車椅子で移動できる。	手術後おおよそ3～10日で退院・転院できる。
検 査	血液検査・レントゲン検査等 必要に応じて行います。 	必要に応じて血液検査をします。 		手術後にレントゲン検査、  血液検査をします。	血液検査をします。	必要に応じて血液検査をすることがあります。
治療・処置	尿の管を入れます。 	排便の確認をします。 必要時には浣腸を使用します。		手術後は脱臼予防のために、股関節圧迫固定器を装着し、足の間に枕を入れて固定する場合があります。	傷にはドレーン(管)が挿入され、傷の状態をみて抜きます。また、傷の消毒をします。  尿の管を抜きます。	2日に一度、傷の消毒をします。
内 服	必要な内服は継続します。 			必要な薬のみ内服します。	内服を再開します。 	
注 射	疼痛時は痛み止めの注射を使用する場合があります。			24時間点滴を行い、必要時には輸血を行います。 抗生剤の点滴を行います。 疼痛時は痛み止めの注射を使用します。		抗生剤の点滴を行います。
食 事	食事が食べられます。 	就寝後から食事を食べたり、飲んだりできません。 		手術後、お腹の動く音を確認したら水分が摂れます。 その後食事を開始します。  		
安 静 度	手術前はベッドの上で安静に過ごします。 			手術後5～6時間はベッド上安静になります。 看護師が体の向きを変えます。 		車椅子で移動できます。 
清 潔				毎日体を拭きます。 		
説明・指導	主治医より病状、手術の説明を行います。 看護師より入院説明を行ないます。	医師・看護師より手術説明を行ないます。 麻酔科医が病室に診察に伺います。		手術後、主治医より手術の結果と、今後について説明があります。		退院・転院後についての説明があります。 
	必要時、呼吸機能回復訓練器(スーフル)を病棟からお渡しします。(5250円)					
	必要時、肺塞栓を予防するため、足に弾性ストッキングや間欠的に空気で圧迫するフットポンプを付けます。					

特別な栄養管理の必要性 有・無

在宅復帰支援計画 無・有()

総合的な機能評価 無・有()

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わる事があります。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

注) 原本患者保管・自署以外のサインは印が必要です。

年 月 日 岩手医科大学附属病院 岩手県高度救命救急センター

主治医氏名:

担当以外の担当者:

在宅復帰支援担当者:

本人・家族氏名: